

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2015

工法の有効性学ぶ

ミラクルソル協が講習会

ミラクルソル協会(原裕理事長)は20日、広島市中区のメルパルク広島で2015年度技術講習会を開いた。元国土交通省事務次官の佐藤直良、日本建設情報総合センター顧問が「社会資本の未来に向けて」、中国地方整備局の猪森正一企画部技術調整管理官が「公共事業に関する最近の話」と題して特別講演したほか、講習では「ミラクルソル工法」の有効性や今後の可能性を説明した。



原理事長

開会後の特別講演で佐藤氏は、建設分野に関する世界各国、国内他産業の動向などを具体例を示しながら今後取り組むべき新たな社会資本マネ

ジメントについての考えを披露した。

猪森氏は、局の予算や主要事業のほか、ストック効果、国土のグランドデザインを踏まえた広域地方計画、品確法の取り組みなどを解説した。

その後の技術講習では、原理事長が「ミラクルソルの活用技術―環境土木・環境緑化工法」、協会顧問の荒木宏之、佐賀大学低平地沿岸海域研究

センター長が「進化を続けるミラクルソル―環境分野への適用」をテーマに講義した。

この中で原理事長は工法開発の背景や目的を振り返るとともに、発泡廃ガラスを再資源化した多目的材料ミラクルソルの環境土木・環境緑化工法への適用と発泡廃ガラス粉末ゼオライトを用いた汚染焼却灰の埋設処分管理工法の提案について説明した。